

令和4年度 佐世市立崎辺中学校 学校経営方針

令和4年4月4日 校長 古庄 忍

校訓「質実剛健」「親和敬愛」

教育目標

確かな学力をもち、心豊かで たくましく生き抜く生徒の育成

崎辺中学生徒の自主行動

- 1 三無一礼（清掃 配膳 整列 挨拶）
- 2 「み・そ・あ・じ」（身なり 掃除 挨拶 時間）

めざす生徒像

- 志を持ち、自ら求めて学び、考え、意欲的に行動する生徒
- 心豊かで思いやりのある生徒
- 礼儀正しく規律を守り言動を律することのできる生徒
- 心身共に健康でたくましい生徒

めざす学校像

- 元気で明るい学校
 - ・明るく生き生きと活動し校歌を元気に歌う学校
- 清潔で美しい学校
 - ・校内の環境が整えられ居心地がよい学校
- 礼儀正しい学校
 - ・秩序があり、
気持ちのよい挨拶や言葉遣いができる学校

めざす職員像

- 生徒の成長を願い、一人ひとりを大切にする教師
- 心のふれあいを大切にし、生徒理解に努める教師
- 積極的に研修に励み、自覚と使命感に燃え、
自己の向上に努める教師
- 生徒から慕われ、保護者・地域社会から
信頼される教師

1 学校経営方針の基本的な考え方

学校全体 テーマ 「いのちを大切にし、いのちを活かそう」

（１）「いのちを大切にする」

- ・「いのち」の生まれる奇跡
- ・「いのち」の有限性
- ・今ある「いのち」へ感謝
- ・自分の「いのち」＝自分の人生
- ・自分の人生を大切に→学習や諸活動への意欲向上
- ・他の「いのち」＝自分の「いのち」同様に奇跡的な誕生そして有限である
- ・自分の「いのち」と他の「いのち」同等に大切である→傷つけることができるはずがない

（２）「いのちを活かす」

- ・自分の「いのち」を正しく活かす方法を考えさせる←「いのち」輝くものを見つけさせる
- ・できることをさせて褒め、認める（承認欲求）←仕掛けも必要
- ・「ありがとうございます」の精神と感謝の声が響き渡る学校

2 「いのちを大切にし いのちを活かす」ために

(1) 教育課程・学習指導

① 教科への愛情・愛着を伝えよう

教師が教材にわくわくしていなければ生徒は学びにわくわくするはずはない。
教科の知識や技能を身に付けさせることはもちろんである。お願いしたいのは、その教科への先生方の愛情、愛着、わくわく感、「好きだ〜!」とか「おもしろえ〜!」等の思いを授業をとおして伝えてほしいと思います。

② 知的好奇心くすぐったり、想像力を豊かに考えさせたりしましょう

すべての授業で、また、すべての単元で行うことは難しいと思います。1年間の中で、履修内容でできる単元等があれば、「不可解な事象の全容の謎解き」そしてその謎解きの仕掛けづくり等を行ってほしいと思います。

③ 「ねらい」の設定とねらいに即し、学びを身に付けさせる「振り返り」の設定

定着を意図した授業づくり（ドリル学習等も含む）

④ 「特別の教科 道徳」の充実

教科書や自作教材等を活用し授業実践を積み上げましょう。

(2) 生徒指導

① 生徒理解に基づく生徒指導（共感的傾聴 カウンセリングマインド）

② スモールステップや短期集中型での目標達成（褒める指導につなげる）

③ 生徒会活動の充実（自治的活動により成長 自浄努力）

1 三無一礼（清掃 配膳 整列 挨拶）

2 「み・そ・あ・じ」（身なり 掃除 挨拶 時間）

④ 言語環境を整える（挨拶 家族以外の大人としての教師の所作や言葉等）

⑤ スクールカウンセラー、心の教室相談員、スクールソーシャルワーカーとの連携強化

(3) 学校運営～職員は学校の資本です。皆さんがいなければ学校は成り立ちません。～

- ・ 一人で抱え込まないようにしよう。 ・ 分からないときは、声に出して助けを求めよう。
- ・ みんなの声に、反応して助け合おう。 ・ 声かけあって、仕事を分け合いながら進めよう。

① 環境を整える（安全な環境 物品のスクラップと新規購入）

(4) 研修～教職員としての研究・研修～

- ① 学び続ける教師として「長崎県教員等としての資質の向上に関する指標」や「新しい人事評価制度」の能力評価票を有効活用し、職種・ステージ等に応じた資質能力を磨いていきましょう。

(5) 服務～法規の遵守 自覚ある行動～ 「いのちを大切にしよう」

① 教育公務員として法規を遵守し、自覚ある言動をしましょう。

② 不祥事根絶 不適切な指導根絶 体罰根絶